

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①全国学力学習状況調査/遺跡調査整理事務所の紹介(施設編②)
- ②学校における働き方改革/町内学校閉庁日
- ③聖火リレーサポートランナー募集/青少年センターからのお知らせ
- ④定例教育委員会/ソフトボール大会/スケート記録会/リンク利用案内/英会話教室
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

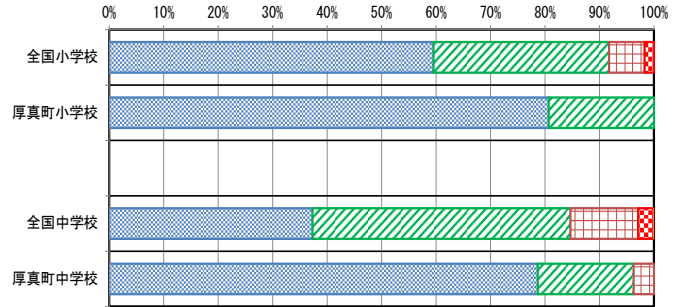
厚真町の学力を支えるのは何？ 全国学力学習状況調査から読み取る

12月、教育委員会では、今年度の全国学力学習状況調査の結果を公表しました。

この結果を分析すると、(資料1)全国学力学習状況調査から～「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という設問で、「そう思う」と回答した児童・生徒の割合は、ほぼ8割と全国を大きく上回り、先生方の粘り強い指導の成果が伺えます。

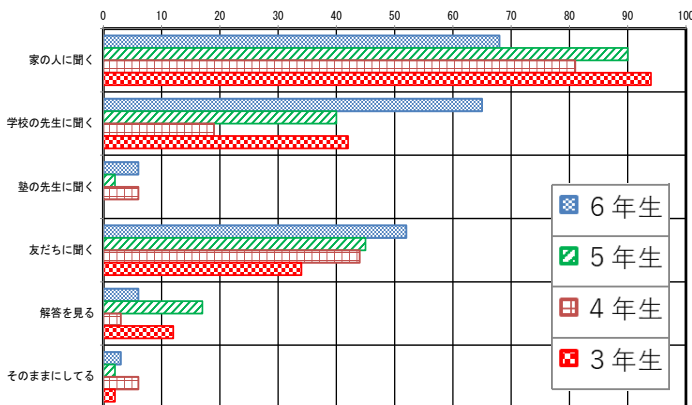
資料1

先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



資料2

学校や家での勉強で、分からない時はどうしていますか



さらに、(資料2)厚真町学習アンケートから～「学校や家での勉強で、分からない時はどうしていますか」という設問からは、小学校においては、「家の人に聞く」と回答した児童が圧倒的に多く、保護者の皆様の力が厚真の学力を支える大きな力となっていることも分かります。

教育委員会は、今後も家庭や学校と連携しながら厚真の子どもたちのために取り組んでまいります。

“触って”“持って”“感じる”資料館を目指して施設編②

軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)は、遺跡から掘り出された土器や石器などの整理作業室として利用されていますが、明治から現代に至る厚真町の様々な歴史資料の収蔵保管、展示も行われています。これらの約10,800点の資料は木製の大型棚などに生活用具(衣食住・学び・遊びなど)や農林業、漁業、工業などに分類して一般の方々に公開されています。

他町の資料館・博物館とは異なり、収蔵展示というスタイルで、見学者の方々が手にとって触れ、製作した人、使っていた当時の人の息吹を直接、体感できる展示となっています。全国各地にある約1万件の資料館・博物館の中でも、ここまでオープンにしている展示施設は厚真町独自のものです。年間約700人の見学者が訪れており、全国の博物館めぐりをする方々からも「さわれる資料館」はとても大好評です。また、まだ動かして使える資料を、実際

にを使って体験していただくことができることもこの施設の特徴です。

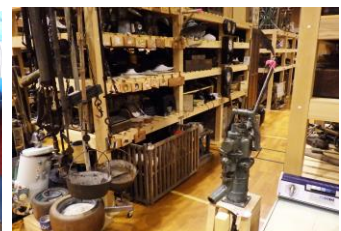
軽舞遺跡調査整理事務所は、困難を乗り越え、現在に至る様々な厚真の歴史、先人の智慧や工夫を伝える学びの場としての役割も担っています。



馬具は木馬に装着し、乗馬疑似体験ができます。



まだ動く農機具は実際に稲こき(脱穀)体験などできます。



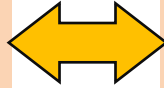
民具資料の収蔵展示

学校における働き方改革として行う

「学校閉庁日」の取組にご理解とご協力をお願いします

学校の現状

教科指導、生徒指導等を一体的に行う「日本型学校教育」は、国際的にも高く評価され、学校が子どもたちの人格的成長に大きな役割を果たしています。



一方で、学習指導、生徒指導に加え、複雑化・多様化する課題が教員に集中し、教員の業務負担の軽減が課題となっています。

先生の1日（勤務状況例）

出勤	打合せ等	授業 (4時間)	給食指導	授業 (2時間)	清掃指導	成績処理	学習指導	休憩時間	生徒指導	部活指導	事務処理	翌日の授業準備 (教材研究)	退勤
8:00			12:00		14:30			16:30					19:18
8:00～16:30										16:30～19:18			
勤務時間 7時間45分+休憩時間 45分										時間外勤務 2時間48分			
(北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例)										(H28勤務実態調査中学校平均)			

■ 1週間当たりの勤務時間が60時間を超える者の割合（H28道教委勤務実態調査）

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
教頭	70.8%	72.7%	66.7%	30.0%
教諭	23.4%	46.9%	35.7%	5.2%

（教員の勤務時間 1日：7時間45分、1週間：38時間45分）

働き方改革を進めることで…

- 教員が授業や授業準備等に集中し、健康でいきいきとやりがいを持って勤務しながら、学校教育の質を高められる環境を整備します。
- 教員が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになります。

※北海道教育委員会作成資料より抜粋

厚真町内の小中学校

12月29日(日)～1月3日(金)は「学校閉庁日」

※12月28日(土)と1月4日(土)～5日(日)は週休日となり
閉庁日と合わせて28日～5日までお休みとなります

【その他】

- ・ 緊急時の場合は、学校から提示される連絡先にご一報ください。
- ・ 学校開放による体育館の使用もこの期間はできません。

【問い合わせ先】 教育委員会生涯学習課 学校教育グループ (☎27-2494)



東京2020オリンピック聖火リレー サポートランナー募集案内



厚真町では、来年6月に本町で開催される「東京2020オリンピック聖火リレー北海道リレー」に際し、地域から幅広い年齢層の方に参加していただくためにサポートランナーを募集します。

【サポートランナーとは】

地域から聖火リレーを盛り上げる走者として、聖火ランナーのすぐ後ろを数人で走行し、聖火ランナーをサポートします（サポートランナーが聖火トーチを持つことはできません）。

【厚真町聖火リレー開催概要】

- 日時 令和2年6月15日（月）11時30分～13時頃を予定（走行自体は3分程度）
 場所 厚真町スポーツセンター敷地内
 概要 各聖火ランナーは、200m前後の区間を走ります。サポートランナーは、最終聖火ランナーの走行区間の中間付近で合流し、聖火ランナーとともに約100m走行してゴールとなります。走行は、自分のペースでゆっくり走る程度のスピードです。

聖火リレーサポートランナー募集内容

- 募集対象 2020年4月1日時点で、高校生以上の厚真町民。
 ※町内の小・中・厚真高校生には学校を通じて別途通知します。
- 募集人数 10人
- 選考方法 抽選（抽選日は応募者に別途通知します）
- 募集期間 令和元年12月25日（水）～令和2年1月31日（金）
- 応募方法 応募用紙を下記の設置場所または町ホームページから入手し、必要事項を記入して郵送または持参してください。
- 【設置場所】役場、教育委員会、青少年センター図書室、厚南会館
 【提出先・問合せ先】
 〒059-1601 勇払郡厚真町京町165-1
 厚真町教育委員会社会教育グループ TEL：0145-27-2495
- その他 町から支給されるユニフォームを着用して走行していただきます。個人で用意したものを着用して走行することはできません。

◆◆ 青少年センターからのお知らせ ◆◆

☆☆☆フラネタリウム☆☆☆

- 投影日時**
毎週土曜日（祝日を除く）
午後1時30分～
- 投影内容** 冬の星座解説、等
※グループ、団体などご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。
- 問い合わせ**
教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

青少年センター 年末年始の休館日

【青少年センター・創作館】
12月31日（火）～1月5日（日）休館
1月6日（月）から全館開館いたします。

【プラネタリウム投影予定】
12月28日（土） 通常投影
1月11日（土） 通常投影
※1月4日（土）は休館となります。

11月定例教育委員会

11月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真町特別支援教育連携協議会/厚真町英語教育推進委員会/厚真町心のサポート・防災学習推進協議会/英語力向上推進校授業公開/厚真町アウトメディアアンケートの結果について/就学時健康診断時「家庭教育セミナー」/児童生徒芸術鑑賞会「NHK 子ども音楽クラブ～N 響が厚真にやってくる!」/冒険の杜プロジェクト第2回遊び場づくりワークショップ(ほか4件)

◆議案

教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について

◆協議事項

令和元年度全国学力学習状況調査結果の町民公表について/令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の記載について

◆その他

教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会の開催について/成人式の御案内について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

室内ソフトボール大会

冬期間の町民の健康・体力づくりと町民同士の触れ合いを目的として「第25回室内ソフトボール大会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

◆と き 2月10日【月】～14日【金】
開会式 午後6時から(初日のみ)
第1試合 午後6時30分開始
第2試合 午後7時30分開始
第3試合 午後8時30分開始

◆と ころ あつまスタードーム
◆出場資格 町民または町内の職場・学校に所属する方で中学生以上の方。職場・自治会・グループなどチーム編成は自由です。ただし複数チームへの選手の2重登録はできません。

◆監督会議 2月3日【月】午後6時

◆申込み 1月27日【月】午後5時までに各自治会や前年度出場チームに配布の申込み用紙に記入し下記宛に提出してください。(先着12チーム)

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ ☎27-3775 (スポーツセンター)

厚真町スピードスケート記録会

「第40回厚真町スピードスケート記録会」を開催します。参加する児童・生徒へ大きな声援をお願いします。

◆と き 令和2年2月1日【土】
開会式 : 午前9時00分から
競技開始: 午前9時30分から
(開会式終了後開始)

中止の場合は2月2日【日】に順延

◆と ころ 町民スケートリンク(新町)

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

町民スケートリンクの利用について

今年の町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。皆さんのご利用をお待ちしています。

◆利用期間 令和元年12月下旬〔予定〕から
令和2年 2月29日【土】まで

◆利用時間 午前9時00分から午後8時00分
※12月31日は午前9時～正午まで
※1月1日～3日は午後1時～午後4時まで
※天気や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。

◆問 合 せ ☎27-3775 (スポーツセンター)

ケルシー先生と学ぶ 冬季英会話教室開講

ケルシー先生を講師に、冬季(2月～3月期)の英会話教室を右記のとおり開講します。

初心者・経験者の2つのクラスで展開しているので、英語に苦手意識のある方でも気軽に楽しく始められます。

参加希望者は、事前に電話にて申し込みをお願いします。

皆様の参加をお待ちしています!

日 程 令和2年2月5日から3月18日まで
毎週水曜日開催
○初心者クラス 17:30～18:30
○経験者クラス 18:30～19:30
場 所 青少年センター2階 団体室
対 象 英会話に興味のある中学生以上の町民
内 容 英会話や筆記を交えながら、外国の文化や生活習慣等について学びます。
申込み 教育委員会社会教育グループ
Tel 27-2495

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

年末年始休館のお知らせ

厚真町公民館図書室は下記の期間休館いたします。

2019年12月31日(火)から2020年1月5日(日)まで

青少年センター、厚南会館それぞれの入口に返却用ブックポストを設置しています。休館期間中も本を返却することはできますが、本がすでにいっぱい入っている時は6日以降に返却してください。



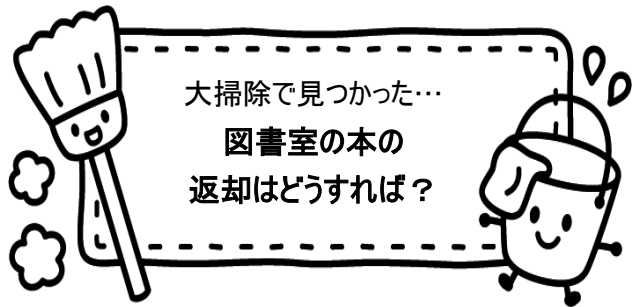
子育てのヒント本特集展示

図書室にある本の中から、子育てに役立つような本を集めて展示します。大人のごはんと一緒に離乳食を作る取り分けごはん、絵本を探す時のヒントになる本、手軽に作ることができる小物類の本といった、0歳から2,3歳児向けの子育て本が中心です。これは良さそうと思ったことを試してみたいかでしょうか。

展示場所: 厚真町青少年センター図書室
入口付近スペース

展示期間: 12月23日(月)～1月17日(金)

※展示期間終了後も図書室で所蔵しています。



大掃除で見つけた…

図書室の本の
返却はどうすれば？

普段使っていないカバンを拭いたり、引き出しの中を整理したり、おもちゃ箱を整頓したり、棚などをお掃除した時にバーコードがついている本や雑誌がありませんか？それは厚真町公民館図書室か、北海道立図書館の資料です。

返却ポストに入れていただければ図書室で返却処理しますので、どうぞお持ちください。

厚真町発掘資料の展示 場所が変わりました

厚真町で発掘された資料を青少年センター入口正面で展示していましたが、カウンター付近のレイアウト変更に伴い、郷土資料の近くへ移動しました。展示物も入れ替わりますので、どうぞご覧ください。

展示物や発掘調査に関しては
軽舞遺跡調査整理事務所へお問い合わせください。
住所: 軽舞 205-2 (旧軽舞小学校)
電話: 0145-289-2733

■青少年センター 1月の休館日

1～5日 年末年始休館
13日(月) 成人の日

■青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)
■厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

1月のおはなしのびっこは23日(木) 10時から 厚真子育て支援センターです

☆放課後子ども教室☆

今年も残すところあとわずかとなりました。2学期も終わり、待ちに待った冬休みです。クリスマスにお正月と、子どもたちにとっては楽しいイベントが満載の冬休み。ケガや事故なく楽しく過ごしてくれることを願います。

11月の子ども教室では、モノづくりスペシャルとして、富山県南砺（なんと）市で開催される『南砺ふくみつ雪あかり祭り』というイベントで使用される巨大紙風船の制作を行いました。絵やメッセージを書いた縦6メートル、横3メートルの大きな和紙を貼り合わせ、紙風船を作り、気球のように空へと舞い上げるというもので、合わせて4面になるように、各活動日に1枚ずつ作製しました。下絵の上に子どもたちが手形を押して、モザイクアート風にハスカップや稲穂などの農産物や、あつまらくんを描きました。手だけではなく、顔や足にも絵の具をつけてキャッキゃとはしゃぐ子どもたち。どうしたら効率よく色が塗れて、キレイに見えるか工夫しながら取り組んでいました。先日、富山県南砺市からイベントの実行委員会の方が、厚真町の視察に訪れ、その際、子ども教室の活動の様子も見学されました。「元気な子どもたちですね。厚真の子どもたちが作ってくれる紙風船を、楽しみに待っています」と完成を心待ちにしているとのことでした。完成品と合わせて制作風景の写真も送る予定です。子どもたちのにぎやかさも一緒に届けばいいなと思います。



このほか、11月の後半では低学年ではキックベース、高学年はトリコロキューブというレクリレーションゲーム、12月に入ってから、クリスマスにちなんだりレーやビンゴゲーム、身近にある素材を使ったミニ実験などのプログラムを実施しました。体をたくさん動かすことはもちろん、作戦を考えたり、色々な方法を試したり、頭を使って考える場面もありました。仲間とコミュニケーションを取りながら、自分たちで遊びを作り出していく様子が、見ていてとても面白かったです。3学期も引き続き、子どもたち同士の関わりから遊びが生まれる環境を作っていきたいと思います。

